

福島市 農政だより

編集・発行

福島市五老内町3番1号
福島市農政部農業振興室

発行責任者

農政部長 斎藤 房一

講演会のお知らせ

市では、市産農産物の販路拡大や農業経営の向上を図るために、3回にわたり講演会を開催します！興味のある方はどなたでもご参加いただけます。お誘い合わせのうえ、是非、ご参加ください！！

〈申込方法〉

市ホームページ内の申込みフォームもしくは、①講演会名②氏名③住所④電話番号⑤受講希望人数を明記の上、FAXまたは、はがきでお申込みください。

※先着順にて受付します。(入場券を発送いたします。)

〈受講料〉 無料

〈申込先〉 福島市農政部農業振興室

〒960-8601 福島市五老内町3-1 FAX 024-533-2725



■ 福島市GAP研修会

- ◇日時：平成31年2月2日(土) 午後1時30分～4時
- ◇会場：ホテル福島グリーンパレス 2階 瑞光 西の間
- ◇内容：

第1部 GAP講演会

演題「農業に求められるGAPの取組」

講師 イオンアグリ創造(株)

品質管理室 室長 岡 和美氏

演題「生産が変わる！GAP導入への第一歩」

講師 (有)穂海農耕・(株)穂海 代表取締役 丸田 洋氏

第2部 事例紹介

「GAPの基礎と導入後の効果」

福島県立福島明成高等学校

- ◇定員：200名程度
- ◇申込締切：1月25日まで



■ 農業経営講演会

- ◇日時：平成31年2月23日(土) 午後1時30分～午後4時
- ◇会場：市民会館第2ホール
- ◇内容：

第1部 講演会

演題「農業で起業！～ゼロから上場まで～」

講師 (株)農業総合研究所

代表取締役社長 及川智正氏

起業後9年で取引高55億円を達成。農業ベンチャー初の上場企業として全国から注目を浴びている。



第2部 講演会

演題「地域ぐるみの獣害対策」

講師 福島大学食農学類準備室

准教授 望月翔太氏

地域に根差した鳥獣害対策の集落支援活動に携わる。



- ◇定員：100名程度
- ◇申込締切：2月12日まで

※各会場共に講演会専用駐車スペースはございませんので、公共交通機関をご利用ください。

〈問合せ先〉 農業振興室 農政企画係・生産推進係 電話(525)3726 6次化係 電話(529)7663

生産者の皆様へ **～31年産「米・大豆・小豆・そば」の
放射性物質吸収抑制対策(カリ肥料散布)のお知らせ～**

穀物の放射性物質の吸収抑制対策として、「カリ肥料の散布」が極めて有効です。

本市では、県の指導により、毎年、土壌のカリ含有量調査を行い、その結果をもとにカリ肥料の散布量を決定し、生産者の皆様へ配布してきました。

平成31年産「米」「大豆」「小豆」「そば」については、現在、「カリ肥料散布」の必要性を検証しているところです。

その結果については、2月頃に広報しますのでご確認ください。

なお、カリ肥料散布を実施する場合、これまでに配布実績のある方に、作付意向調査の通知を送付します。通知が届かない方は問合せ先までご連絡ください。

〈問合せ先〉 農業振興室 生産推進係 電話(525) 3726



米の全量全袋検査の状況をお知らせします

皆様のご理解とご協力により、平成30年に市内で生産された全ての米（主食用米、加工用米、飼料用米、くず米等）を対象に放射性物質検査をしています。

検査の状況は、カリ肥料による吸収抑制対策の効果により、12月12日現在、基準値（100ベクレル/kg）を超える放射性セシウムは検出されておらず、検査した全ての米が測定下限値（25ベクレル/kg）未満となっています。

なお、米袋の中に土などの異物が混入していると、正確な測定ができないことから、検査対象米に異物が混入しないようご注意くださいようお願いいたします。

〈検査状況〉 平成30年12月12日現在

		25未満 (ベクレル/kg)	25～100 (ベクレル/kg)	100超 (ベクレル/kg)	計
平成30年産米	検査袋数	257,424	0	0	257,424
	割合	100%	0%	0%	100%
平成29年産米	検査袋数	293,907	0	0	293,907
	割合	100%	0%	0%	100%



〈問合せ先〉 福島市地域の恵み安全対策協議会（事務局：農業振興室 生産推進係 電話(525) 3726）

出荷制限・加工自粛の品目にご注意ください

放射性物質の影響により、下記のとおり出荷制限・加工自粛となっている品目があります。支所等のモニタリングセンターで検査した結果が基準値以下であっても、出荷・直売所等での販売及び譲渡はできません。

品 目	内 容	
	加工自粛	出荷制限
あんぼ柿、干し柿	○	
ユズ		○
山 菜	くさそてつ（こごみ）、たけのこ、こしあぶら、ふきのとう（野生）、たらめ（野生）、わらび（県が許可した生産者は出荷可能）	○
きのこ	野生きのこ(全て)、原木しいたけ(露地栽培)	○



あんぼ柿の検査済みシール

※ あんぼ柿の注意点

- ・福島市、伊達市、桑折町、国見町の2市2町は加工自粛区域となっています。
- ・「あんぼ柿(干し柿は含まない)」については、福島県あんぼ柿産地振興協会が実施している全量検査により、安全性が確認され、同協会発行の検査済みシールが貼付されたトレーパックと個包装したもののみ出荷販売が可能となります。
- ・「あんぼ柿(干し柿は含まない)」の加工用原料柿は、幼果期の検査で安全が確認されたものに限り、2市2町内でのみ売買(移動)可能です。それ以外の市町村との売買(移動)はできません。

〈問合せ先〉 あんぼ柿・ユズの出荷制限等について
山菜・きのこの出荷制限について

福島県県北農林事務所 経営支援課 電話(521) 2609
福島県県北農林事務所 林業課 電話(535) 0323

第4回「ふくしま・かわまた(米)コンテスト」が開催されました

4回目となる米コンテストは昨年11月に開催され、福島市、川俣町あわせて76点のお米の中から、尾形儀一さん(笹木野)が金賞に選ばれました。

コンテストは「地元産米のおいしさと、安全性、生産者の努力を知ってほしい。」という思いから、福島市・川俣町・JAふくしま未来・福島大学の共催で行われています。

食味計や味度計により選出された上位10名の皆さんのお米を、福島市長をはじめとする12名の審査員が試食し、見た目や香り、粘り、硬さ、そして味などの項目を厳正に審査して順位が決定しました。

会場では、福島大学生によるクイズや一般来場者による金賞受賞米の予想投票が行われ、的中した来場者にお米5kgなどの景品がプレゼントされました。

審査結果は右のとおりです。

〈問合せ先〉 農業振興室 生産推進係 電話(525)3726

第4回「ふくしま・かわまた米コンテスト」入賞者(敬称略)

金賞	尾形 儀一(笹木野)		
銀賞	斎藤 博美(川俣町東福沢)、	茂木 文一(松川町水原)	
銅賞	佐藤 勝一(川俣町秋山)、	橋本 吉弘(立子山)	
	遊佐 利右衛門(笹谷)		
入賞	加藤 宗平(松川町水原)、	加藤 安一(松川町水原)	
	菅野 清吉(川俣町鶴沢)、	佐藤 治(川俣町羽田)	



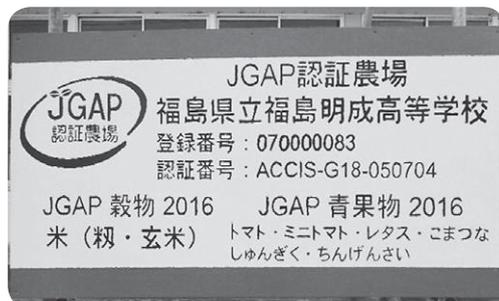
入賞者・審査員のみなさん

福島県立福島明成高等学校のGAPの取り組みを紹介いたします!

本校ではBasic2016青果物にてトマト、ミニトマト、レタス、こまつな、しゅんぎく、ちんげんさいの6品目、同じくBasic2016穀物では玄米の1品目の計7品目について、2018年5月7日にJGAPの認証を得ることができました。

JGAP認証取得に向け、まずは「できることから始めよう」を合い言葉に、「実習内容を記した日誌の作成やほ場・調整室の清掃」など、身近な項目から認証取得に向け活動をスタートしました。農業実習をとおして、生産工程の中で危険な作業や問題点等を話し合い、先生方やGAP指導員の方から指導・アドバイスをいただきながら課題解決に取り組み、認証取得に至りました。「作付け品目すべてのJGAP認証取得」を目標に、平成31年度は「維持審査の通過」と「畑作部門でのネギ・サツマイモ、果樹部門のモモでの新たな認証取得」に向けた取り組みを進め、より「安全」な農産物を生産し「安心」を消費者に届けることができるよう、「安全・安心の見える化推進」に努めて参りたいと考えています。

JGAPの認証を取得した7品目を含めた農産物については、毎週月・木曜の2日間(学校が休業日の場合は前後します)、夕方4時から校内にある「生産物販売所」でお買い求めいただくことができます。どうぞご利用ください。



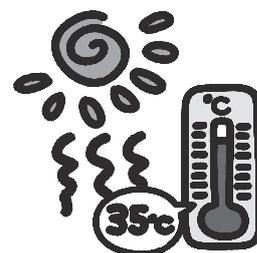
昨夏の高温少雨による被害農家のみなさんへ



小災害資金として、農作物に被害を受けた農業者等を対象に、営農のために必要とする運転資金を融資します。

- 対象災害：平成30年6月からの高温・少雨の気象災害
- 対象者：上記気象災害により農作物に被害を受けた農業者等
- 資金使途：営農のために必要な運転資金
- 貸付内容：300万円以内、利率0.4%以内(農協取扱分は実質無利子)
5年以内の償還(据置1年以内)
- 申込期限：平成31年3月8日
- 取扱金融機関：JAふくしま未来、東邦・福島・大東の各銀行、福島信用金庫
- 申込方法：上記金融機関に電話にてご連絡ください。
必要事項を聞き取りさせていただき、申込手続をご説明いたします。
※必要書類等確認のうえ、早目の対応をお願いいたします。

〈問合せ先〉 上記金融機関、県北農林事務所農業振興普及部 電話(521)2604
農業振興室 生産推進係 電話(525)3726



水路に大量の雪を捨てないでください

側溝や水路に捨てられた雪などは、水路が詰まる原因になります。

特に冬季、水路に大量の雪が捨てられると溶けずに下流で詰まり、水路から水があふれ、周辺住宅に被害をおよぼす場合がありますので水路にはごみや大量の雪を捨てないでください。

〈問合せ先〉 農林整備課 管理係 電話 (525) 3728

農業委員会からのお知らせ

農業者年金に加入しませんか

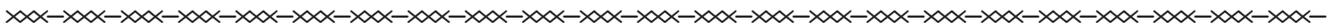
農業者年金の特徴・メリット

- ☆農業者の方なら広く加入できます。
- ☆少子高齢時代に強い積立方式（確定拠出型）の年金です。
- ☆認定農業者など意欲ある担い手には保険料の国庫補助があります。
- ☆保険料の全額が社会保険料控除の対象となるなど税制面の優遇措置があります。

～しっかり積み立て、がっちりサポート 安心で豊かな老後を～

- ☆終身年金です。仮に80歳前に亡くなられた場合でも死亡一時金が遺族に支払われます。
- ☆保険料の額は自由（月額2万～6万7千円）に決められます。
- 詳しくは下記問合せ先までご連絡ください。

〈問合せ先〉 農業委員会事務局 庶務係 電話(525)3779



農地の貸し借りが安心してできます

農業経営基盤強化促進法に基づき、農地を貸し借りする方法があります。この方法を利用すれば、契約期間満了後は確実に農地が返還されます。ぜひ、この機会に農地の有効利用をご検討ください。

なお、申し出の手続きは右表のとおり行っています。また、対象の農地が農振農用地の場合、農地中間管理機構が仲介し、効率的に担い手に農地を集積する方法もあります。

詳しくは農業委員会事務局、地元農業委員または農地利用最適化推進委員までお気軽にお問い合わせください。

〈問合せ先〉 農業委員会事務局 農地係 電話 (525) 3779

平成31年の日程

申し出締切日	公告年月日
1月21日(月)	3月29日(金)
5月20日(月)	7月31日(水)
8月20日(火)	10月31日(木)



忘れずに！

農地の生前一括贈与特例にかかる贈与税などの納税猶予の申告・届出について

贈与者又は受贈者が死亡した場合は贈与税免除届を、納税猶予の3年ごとの更新に該当する方は継続届を福島税務署及び福島県北地方振興局に提出することになります。

継続届に該当する方は、福島税務署及び福島県北地方振興局からの通知を持参して、2月末までに農業委員会事務局で、引き続き農業経営を行っている等の証明書に農業委員会会長の証明を受けてください。

〈問合せ先〉 農業委員会事務局 農地係 電話 (525) 3779

～公設地方卸売市場からのお知らせ～

出荷者の皆さんへ

福島市公設地方卸売市場の1月から4月までの臨時休市日は次のとおりです。

出荷される際には、ご注意ください。

なお初せりは、花き部は1月4日(金)、青果部・水産物部は1月5日(土)となります。

◎青果部・水産物部

- 1月9日(水) 1月23日(水) 1月30日(水) 2月6日(水) 2月20日(水) 2月27日(水) 3月6日(水)
- 3月13日(水) 3月27日(水) 4月3日(水) 4月10日(水) 4月17日(水) 4月24日(水)
- 4月30日(火)・・・水産物部は開市日

なお、4月29日(月)は祝日ですが臨時開市日です。

◎花き部

毎週木曜日と1月5日(土)、1月19日(土)、2月16日(土)が休市日となります。

なお、1月14日(月)、2月11日(月)、4月29日(月)は、祝日ですが臨時開市日となります。

〈問合せ先〉 市場管理課 電話 (553) 1213